事例No.	1787
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	鳥取県米子市

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・事務の共同実施 ・公共施設の集約化等

事例種類	広域化等

事例内容・タイトル

近隣市町村間における汚水処理の受託・委託

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【鳥取県米子市】
近隣市町村間における汚水処理の受託・委託

広域化等　下水道事業

鳥取県米子市下水道部下水道企画課

● 取組の概要

持続可能な事業運営を行っていくため、近隣自治体間における汚水処理委託体制の構築を行った。

◆総事業費　建設費1億円（境港市への接続）

◆背景

- 中海を囲む鳥取県の米子市と境港市、島根県の安来市と松江市は、中海圏域定住自立圏を形成しており、閉鎖性水域である中海の水質保全のため汚水処理対策が急務とされている。
- 米子市旭が丘団地では昭和53年に供用開始したコミュニティプラント（処理量120m³/日）が、鳥取県西部地震被害の影響と老朽化に伴う改修が急務であった。
- 持続可能な事業運営を行っていくために、隣接する自治体へ汚水処理を委託することで、効率的に汚水処理を行うこととした。

◆具体的内容

- 処理場の建替えには多額の費用がかかるため、米子市旭が丘処理場（コミュニティプラント）を中継ポンプ場に改築し、約2kmの場所にある境港市下水道センターまで圧送管きょを接続した。
- 境港市に旭が丘団地から発生する汚水を処理する事務の管理及び執行を委託することとした。

◆効果

- 流入汚水量に応じた額を負担金として境港市に納付することとなった（負担金令和3年度決算額：6,238千円）が、旭が丘処理場の建替え建設費（130,000千円）及び維持管理費（4,500千円/年）が削減された。

● 取組のポイント

- 委託の規約や協定について、地方自治法に基づく議会の手続が必要になるため、両市の調整やスケジュール管理を円滑に行う事が重要だった。
- このほかにも、島根県安来市吉佐地区は安来市の既設下水管から約7km離れており多額の整備費がかかるため、県境をまたいで米子市へ接続し、平成24年から汚水処理を受託している。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　146,875人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　132.42km²（令和4年1月1日時点）
- 処理区域内人口　119,964人（令和3年度決算）

汚水処理を委託する地区の位置図



● 取組のスケジュール

- 平成20年12月に汚水処理委託に関する規約を議決。
- 平成22年に設置工事開始（米子市全額負担）。
- 平成22年12月に事務委託に関する協定書を締結。
- 平成23年4月に境港市での汚水処理開始。

● 今後の展望

- 鳥取県西部広域行政管理組合において、し尿処理を行っている米子浄化場を廃止し、米子市の内浜処理場での共同処理を検討している。

  統廃合：米子浄化場 ⇒ 内浜処理場